

## 震度階級表

(気象庁「気象庁震度階級関連解説表」より)

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	—	—
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	—	—
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	—
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5強	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ばされることもある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

## 地震に備える

地震は、大きな破壊をもたらすおそれのある自然災害で、いつ、どこで起こるか予測ができません。被害を最小限に食い止めるため、身の回りの危険箇所を見直し、事前に安全対策をしておきましょう。

### 家の中の安全対策

家具を安全に配置する

通路や出入り口に荷物を置かない

窓ガラスに飛散防止フィルムをはる

家具の転倒や落下を防止する措置をとる

寝室や子ども、高齢者の部屋には倒れそうな家具を置かない

### 家の外の安全対策

#### 屋根

- 瓦にひび割れ、ずれ、はがれがあれば補強する。
- アンテナはしっかり固定する。

#### ベランダ

- ベランダは常に片づける。
- 植木鉢や物干しざお等飛散の危険があるものは、落下しないよう低い位置に置く。

#### プロパンガス

- ボンベを鎖でしっかりと固定しておく。

#### ブロック塀

- ひび割れや傾きがあれば修理・撤去する。
- 土中にしっかりとした基礎部分がないものや、鉄筋が入っていないものは専門家に相談する。

## 地震が来たら

### 地震発生時に自宅にいるときの行動

強い揺れが始まる直前に「緊急地震速報」が、テレビ、ラジオなどを通じて流れます。

### 地震発生

- 落ち着いて、まずは自分の身を守る
- 脱出口を確保する
- あわてて外に飛び出さない



### 1~3分

- 揺れがおさまったら、火の元を確認する
- 家族の安全を確認
- 靴をはいて、逃げる準備を



### 3~5分

- 非常時の持ち出し品を準備する
- 隣近所の安全を確認
- ラジオなどで情報を確認



### 5~10分

- 電話は控える
- 家を出る前に出火防止策を
- 避難するときは、車は使わない



### 10分~数時間

- 消火・救出活動

### ~3日程度

- 災害情報、被害情報の収集
- 壊れた家には入らない
- 自主防災組織を中心に行動する
- 協力し合って集団生活のルールを守る



### 地震発生時の避難

## 地震発生 情報収集



### 自宅

しばらく自宅で様子を見る。テレビやラジオなどで情報収集。

建物の崩壊、火災、津波の発生など身の危険を感じる。避難の呼びかけや、避難の勧告や指示があった。

### 指定緊急避難場所

一時的に避難するための場所。町が指定した公園や学校など。

自宅が倒壊するなどの被害にあう。

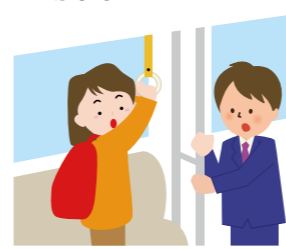
### 指定緊急避難所

主に学校など。多くの人数が収容でき、一定期間滞在できる設備がある施設。

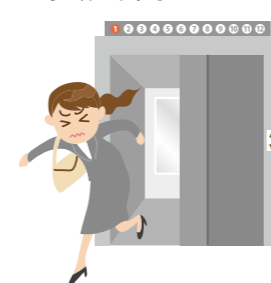


### 地震発生時に外出しているときの行動

- 鉄道・バスでは  
つり革、手すりにしっかりつかまる



- エレベータでは  
最寄りの階に停止させ、すぐにおりる



- 屋外(街)では  
ブロック塀の倒壊や看板、割れたガラスの落下に注意



- 自動車運転中は  
急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度を落とす。ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす



はじめに

風水害

ため池

地震

わが家の防災対策  
防災情報

はじめに

風水害

ため池

地震

わが家の防災対策  
防災情報